

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和 2 年度  
一般選抜 小論文試験問題  
〔 150 点 〕  
〔 60 分 〕

千葉県立保健医療大学 健康科学部

注意事項

1. 問題冊子は、表紙を除き 6 頁である。
2. 問題冊子及び解答用紙の印刷が不鮮明などの場合には、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は、必ず黒の鉛筆（シャープペンシルも可）で解答用紙に記入すること。
4. 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。
5. 不正行為に対しては厳正に対処します。

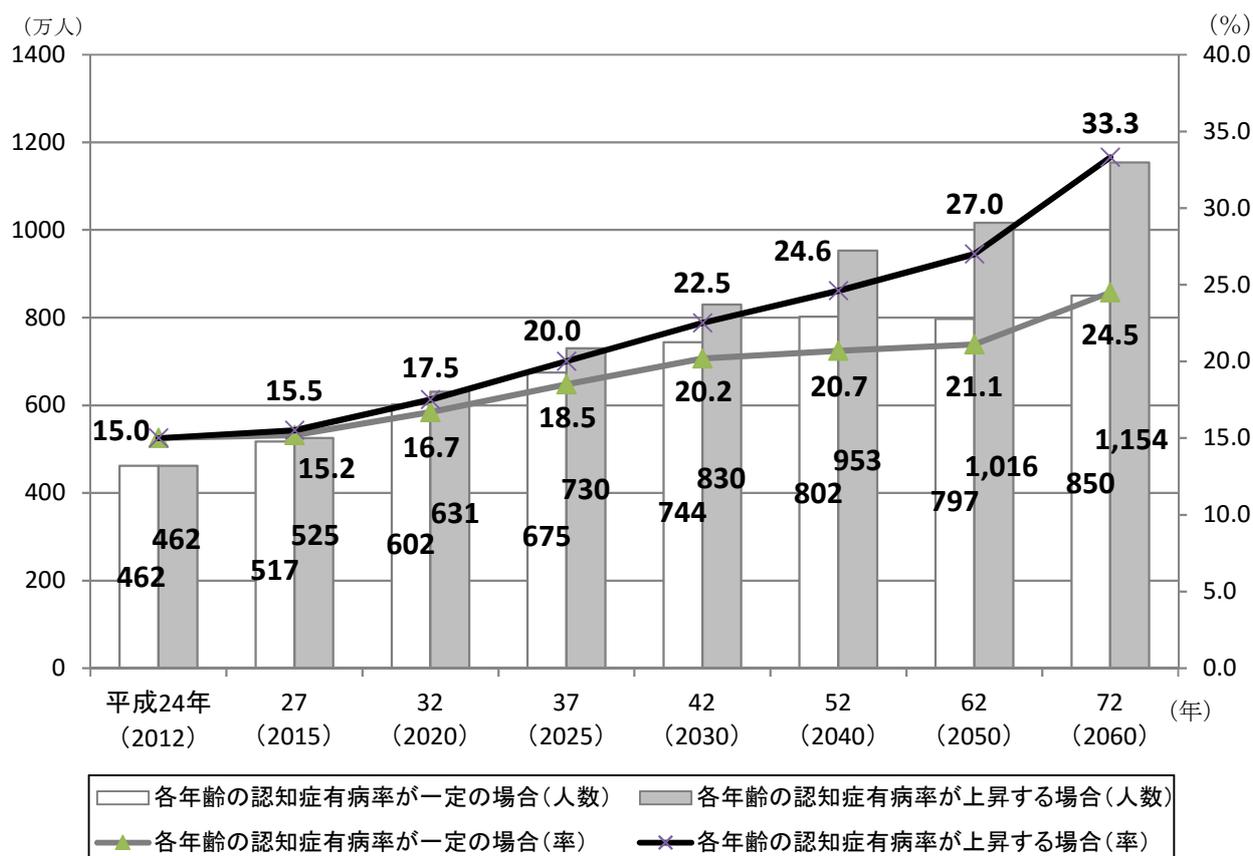
問題 次頁から認知症に関する図および新聞記事を示す。以下の問いに答えなさい。

問1 図をもとに、2025年から2060年の65歳以上の高齢者全体数の増減について、どう推計されるか答えなさい。ただし、各年齢の認知症有病率が一定の場合で答えなさい。

問2 2019年6月に決定された大綱では認知症予防の数値目標は挙げられませんでした。その理由のひとつを新聞記事から読み取り45字以上60字以内で述べなさい。句読点、括弧、数字、英字は1字として、一マス使用すること。

問3 新聞記事をもとに、認知症の「予防」と「共生」を地域で実現するためのあなたの考えを150字以上200字以内で述べなさい。句読点、括弧、数字、英字は1字として、一マス使用すること。

問4 図や新聞記事をもとに、認知症の人が安心して生活するにはどうしたらよいか、保健医療従事者を目指すあなたの考えを350字以上400字以内で述べなさい。ただし、原稿用紙の使い方に従うこと。



長期の縦断的な認知症の有病率調査を行っている福岡県久山町研究データに基づいた、

- ・各年齢層の認知症有病率が、2012年以降一定と仮定した場合
- ・各年齢層の認知症有病率が、2012年以降も糖尿病有病率の増加により上昇すると仮定した場合

※久山町研究からモデルを作成すると、年齢、性別、生活習慣(糖尿病)の有病率が認知症の有病率に影響することが分かった。本推計では2060年までに糖尿病有病率が20%増加すると仮定した。

※資料：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授)より内閣府作成

図 6 5歳以上の認知症患者の推定者と特定有病率

出典：内閣府 平成29年版高齢社会白書

著作権の関係上省略します

出典：2019年5月20日 読売新聞 朝刊

著作権の関係上省略します

出典：2019年8月18日 読売新聞 朝刊

出典：2019年9月19日 読売新聞 朝刊